



光学異性体テクノロジーを活用した殺菌剤・除草剤。少量で、既存製品と同様の効果を発揮！

殺菌剤・除草剤

「ゴールドシリーズ」

構成要素は同じであるものの、立体的には重ね合わせることでできない分子を光学異性体といえます。

光学異性体は、それぞれ生物活性が異なる場合があります。

「ゴールドシリーズ」は、生物活性の高い光学異性体を活用する光学異性体テクノロジーにより誕生しました。

より少ない有効成分投下量でこれまでの製品と同等の効果を発揮する4製品をご紹介します。

既存製品とは登録内容が異なっておりますので、ラベルをよく読んでご使用ください。

生育初期の防除に最適

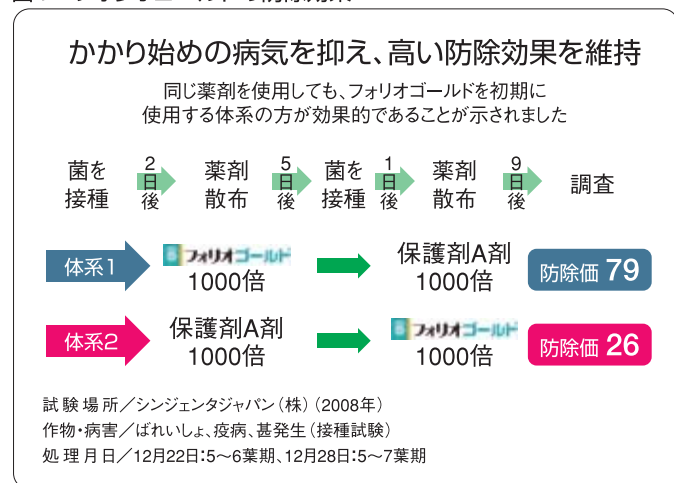
殺菌剤「フロリオゴールド」



特長

- (1) 有効成分メトラキシルMが植物体のすみずみまで浸透移行。散布後に展開した葉でも効果を発揮するので、生育初期の防除に効果的です。(図1)
- (2) メトラキシルMは、散布後すみやかに植物体内に吸収されるため、耐雨性が高く、安定した効果が得られます。
- (3) 幅広い病害をカバーします。
- (4) 使いやすいフロアブル製剤になりました。

図1 フロリオゴールドの防除効果



より使いやすく進化した

殺菌剤「リドミルゴールドMZ」



特長

- (1) 計量・薬液調製が容易で、より果実への汚れが少ないペレット(顆粒)製剤になりました。



リドミルMZ水和剤

シンジェンタジャパン株式会社

約100カ国で、80以上の作物の生産を支える

除草剤「デュアルゴールド」



特長

- (1) 高活性成分S-メトラクロールを高濃度化した「コンパクト除草剤」です。従来の約3分の1の薬量で同等の高い効果を実現。1本(250ミリリットル)で20~25アールに使用できます。環境負荷軽減に貢献します。
- (2) 大豆・とうもろこし・てんさい(移植栽培・直播栽培)ほか適用作物が幅広いのが特長です。特にてんさいでの使い勝手が向上し、直播栽培でも使用できる上、使用回数が1回~2回以内になりました。
- (3) イネ科雑草・カヤツリゲサの卓効により、高い信頼を獲得(表1)。高薬量での使用により、スベリヒユやツクサなどの広葉雑草にも実用的な効果があり、北海道から九州までの畑作地帯で再評価されています。

表1 殺草スペクトル

適用作物	薬量レンジ	薬量 (ml/10a)	イネ科雑草	カヤツリゲサ	広葉雑草										
					スベリヒユ	ホンアオケイトウイヌビユ	ハコベ	タデ類	アカザ	シロザ	オオイヌフググリ	オオイヌフググリ	ハギタメキク	スカシタゴボウ	
とうもろこし他	低薬量	70	◎	◎	□	□	○	○	□	○	□	○	□	○	△
	中薬量	100	◎	◎	□	○	○	○	□	○	○	○	○	○	○
	高薬量	130	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

除草効果 ◎:極大(90%以上) ○:大(80%以上) □:中(60%以上) △:小(40%以上)

除草剤「ゲザノンゴールド」



特長

- (1) 高活性成分S-メトラクロールに合わせて、アトラジンを高濃度化した「コンパクト除草剤」です。従来の約7割の薬量で同等の高い効果を実現。1本(1リットル)で、雑草の発生量に応じて40~70アールに使用できます。
- (2) 土壌処理でも生育期処理でも使用可能。とうもろこしに対する安全性が高く、2~4葉期でも使用できます(表2)。
- (3) イチビ・アレチウリなどの問題雑草にも有効です。他の土壌処理剤とゲザノンゴールドの生育期処理の体系防除により、強害帰化雑草の発芽を連続的に阻害し、蔓延を防止できます。

とうもろこしのロングセラー除草剤



表2 難防除雑草の防除体系例

とうもろこし生育ステージ		播種後発芽前	2-4葉期	3-5葉期
使用除草剤	耕起後まもなく、播種した場合	土壌処理除草剤	ゲザノンゴールド	ハロスルフロメチル剤 またはニコスルフロメチル剤 またはベンダジン剤 ※薬剤ごとに得意な草種が異なりますのでご注意ください。
	耕起から播種までが長くなり、雑草が出芽した場合	フツクワン → 土壌処理除草剤		

※ゲザノンゴールドは、土壌処理でも茎葉処理でも使用できますが、1作の使用回数は1回です。

※ゲザノンゴールドを茎葉処理で使用する場合は、土壌処理剤をゲザノンゴールド、ゲザプリムフロアブル、デュアルゴールド以外の薬剤にする必要があります。